

臨時国会閉会

この1年、皆様方には温かいご支援を賜りありがとうございました。夏の参議院議員選挙で無事3期目の当選を果たし、喜びをかみしめ決意を新たにしたいばかりと思っておりましたが、時の経つのは早いもので、今年も残すところあと僅かとなりました。師走の繁華街はイルミネーションで華やかに彩られ、クリスマスプレゼントなどを探し求める買い物客や年忘れの宴を楽しむ人たちで、大変な賑わいとなっています。

9月末に召集された第192回臨時国会は、2度に渡る会期延長を経て12月17日に閉会しました。今国会の最大の関心事であった「TPP承認案とその関連法案」が今月9日の参議院本会議で可決し、終盤国会の与野党の争点は、公的年金制度の持続向上性を図るための「国民年金法等の改正案」及び「特定複合観光施設区域の整備・推進に関する法律案」いわゆるカジノを含む統合型リゾート（IR）整備推進法案に移りました。廃案を目論む民進党や共産党などの野党は、会期末を控えて厳しい対応を試みましたが、自民党等の与党と日本維新の会の賛成多数により、両案とも会期内に可決、成立しました。

今国会では、政府が新たに提出した19の法案のうち、18の法案が成立するという極めて水準の高い結果となりましたが、前国会から継続となっていた厚生労働省関係の「臨床研究法案」や「労働基準法等の一部改正案」など、継続案件の多くが審議入りすら出来ぬまま、再び継続審議の扱いとなりました。

ところで、安倍総理大臣とロシアのプーチン大統領との日ロ首脳会談は、15日に総理の故郷である山口県長門市で行われ、16日の総理官邸での再会談後の共同記者会見において、合意内容が報告されました。

今回の首脳会談では、北方4島において共同経済活動を行うための特別な制度について、日露両国の平和条約問題に関する立場を害さないという共通認識の下、交渉を開始することで合意しました。このうち医療分野では、健康寿命の延伸や子供向け医療等の協力に向けて、厚生労働省とロシア連邦保健省との間で覚書を締結しました。また、元島民の方々が、自由に墓参・故郷に訪れたいとの切実な願いを叶えるため、人道上の理由に立脚して、あり得るべき案を迅速に検討することにも合意しました。

過去70年以上にわたり解決できなかった平和条約の締結は容易なことではないと思われませんが、両首脳がその解決への真摯な決意を示したとされていることには、これまで膠着していた北方問題に関して新たな歩みを始めるものと、その進展に大きな期待を寄せているところです。